研究活動支援委員会・大学院FD委員会主催　研究報告会

少子化時代に
地方小規模大学の生きる道

6.25（水）15:00▶16:30

場所：新潟産業大学 202教室

参加対象：**教職員・学生・市民（含：高等学校関係者）**

日本の未来を左右する少子化、そして都市への人口一極集中。地方が活力を失う中で、**地方小規模大学**はどのように生き残るべきか？ そして、地域と共に発展していくには何が必要なのか？
本報告会では、長年、高等教育の最前線でご活躍されてきた**住吉廣行 教授**が、その問いに深く切り込みます。新潟産業大学の新たな挑戦、そして「産官学民金」連携による地域活性化の可能性について、具体的な提言がなされます。

■報告者

新潟産業大学 教授・副学長
住吉 廣行

■報告者紹介

学歴: 九州大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）
職歴: 東京大学原子核研究所、同宇宙線研究所 研究員、新潟産業大学 副学長、元松本大学学長、同名誉学長
社会的活動: 日本私立大学協会、大学マネジメント研究会等の専門部会委員（長）・理事などを歴任。私大協が設置した「地方創生に向けた大学のあり方検討小委員会」の委員長として、全国の中小規模私立大学の要望を報告書「地方創成と私立大学」にまとめる。
著書・論文:
『原子核はまっ黒か』（物理学最前線18 共立出版株式会社　1987年）
『健康な地域づくりを目指して』（松本大学出版会　2008年）
『地方・小規模学校の戦略的マネジメント』（私学経営487　2015年）
『小学校と大学で　未知に挑む力はこうして育つ』（子どもの未来社 2023年）他多数

お問い合わせ先：新潟産業大学附属図書館（0257-24-8435）